

来街者に優しい都市づくりに向けて
～新潟市におけるサイン表示の整備促進に関する提言～

平成23年10月
新潟商工会議所 政策委員会

はじめに

新潟市は近隣の13市町村との合併を経て、平成19年4月1日に念願の政令指定都市を実現して以降、本州日本海側で唯一の政令市という優位性を活かした大都市としての認知度や、世界に対するアピール力の向上が求められているところです。

また、都市の魅力増大によって人口吸引力が高められ、その効果がさらなる人や産業の集積を呼び込むという、本当の意味での「政令市効果」を享受していくことが望まれています。

特に、少子高齢化の進展により日本の総人口が減少する中、交流人口を増大していくことの必要性が叫ばれており、観光客やコンベンションの誘致・受け入れ拡大に向けたハード、ソフトの充実が急がれるところです。

このような中、観光客やビジネスマンなどがはじめて新潟市を訪れた際に、交通結節点からの移動に戸惑いを感じる人が多いとの実態を受け、新潟市においては、この解決策として案内標識・誘導看板に着目した、「新潟市都市サインマニュアル」を策定するとともに「新潟市都市サイン整備推進協議会」が設置されるなどサイン表示の充実に向けた対応が図られています。

しかしながら、新潟商工会議所の政策委員会が今年7月に実施したアンケート調査の結果からも見て取れるように、県外出身者などからは、当地における案内標識や誘導看板が不十分であり、移動の際には不便を感じるとの声が未だに聞かれるのが実態です。

そこでこの度、当政策委員会では、活動のテーマとなっている、「新潟市に人を呼び込む」という観点から、“政令市・にいがた”の交通玄関口となる新潟市中心部における案内・誘導に関し、さらなる整備促進とその機能・運営体制の強化による“来街者に優しい都市づくり”に向けた提言を行うことといたしました。

本提言が実現され、新潟市がさらに来街者に優しい都市に発展し、交流人口が増える中で活性化が図られることを大いに期待いたしますとともに、その実現に向けた関係各位からのより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成23年10月

新潟商工会議所 政策委員会
委員長 内山 節夫